

# 住民のいのちと健康、福祉を守るために社会保障施策の拡充を求める要請書 回答

(福井県社会保障推進協議会)

## 【要請事項】

### 1 子育て支援について

(1) 子どもの医療費助成制度の対象を自己負担なし、所得制限なしで中学校卒業まで拡大してください。また、医療費は「窓口負担なし」となるようにしてください。

#### (回答)

平成23年10月診療分から、所得制限なしで中学校卒業まで拡大しました。ただし、小学生以上には、自己負担があります。

窓口負担については、平成22年10月に、県と市町が協議しましたが、現時点では前向きな取組みは進めないとの結論に達しております

(2) 就学援助制度の対象を生活保護基準額の少なくとも1.3倍以下の世帯までとしてください。また、申請の受付は、学校だけでなく市町の窓口でも受け付けてください。

#### (回答)

① 本市の就学援助制度の認定基準は、現行で生活保護基準額の1.3倍となっており、県内他市町の状況も概ね本市と同等又はそれ以下となっています。

② 申請の受付に関しては、直接現金受け取り等の協議、相談など家庭の事情に応じて親身になってお聞きすることができ、きめ細やかな対応ができるため、学校のみでの申請受付となっています。

③ また、学校を通しての申請の場合、申請書とともに市に提出される学校長意見書により基準に満たない場合でも認定となる場合があります。

### 2 高齢者医療の充実について

(1) 75歳以上の高齢者医療費無料制度を実施してください。

#### (回答)

75歳以上の高齢者の医療費を無料にすることは、本市の場合、対象者約33,000人に対して多額の経費がかかり、財政的にも難しいと考えます。

負担の均衡を図り、相互に支えあい、将来にわたり持続可能な医療制度とするためにも、現制度を維持していきたい。